

山形県危険物安全協会連合会 令和2年度 事業計画

1 会議の開催

(1) 総会

令和2年6月23日(火)10時30分から、山形市内パレスグランデールで開催。

- ・令和2年度山形県危険物安全協会連合会会長表彰等
- ・令和元年度事業報告並びに同決算報告
- ・令和2年度事業計画(案)並びに同予算(案)
- ・役員会への補正予算等の委任 ほか

(2) 役員会

第1回 令和2年6月4日(木)に書面で開催。

- ・総会に提出すべき事項

第2回 令和3年2月に山形市内で開催。

- ・令和2年度事業執行状況並びに同予算執行状況
- ・令和3年度事業計画(案)並びに同暫定予算(案)
- ・役員改選の在り方 ほか

(3) 監査 令和2年5月22日(金)に村山総合支庁附属棟内で実施。

(4) 危険物保安講習推進会議 令和2年5月20日(水)に村山総合支庁内で開催。

2 法人化に向けた取組み

当面は、的確な情報収集に努める。法人化の必要性和利点が明らかになった場合には、時機を逸せず、迅速に所要の対応を行う。想定手順は次のとおり。

- (1) 運営検討委員会の設置。委員会の構成は、会長・副会長(3名)並びに役員(若干名)。
- (2) 運営検討委員会による検討事項は、法人の形態(機関設計等の成功例、スケジュールと手法)、成功事例の調査と調査結果に基づく方向付け、法人化のメリット・デメリットの詳細検討、事業安定積立金の取扱 など

3 ホームページによる広報活動

当連合会等の事業内容や保安講習の開催日程等の情報を広く提供し、危険物安全対策に対する県民の理解の深まりを期すると共に、保安講習等の適時適切な受講を促進。

親しみ易く、利用し易いホームページとなるよう、内容・構成の充実に今後とも努める。

4 表彰事業の推進

- (1) 消防庁長官表彰・全国危険物安全協会理事長表彰が、令和2年6月8日(月)に東京都内ルポール麹町で開催。
- (2) 山形県危険物安全協会連合会会長表彰等を、令和2年6月23日(火)に山形市内パレスグランデールで開催。
- (3) 山形県知事表彰が、令和2年11月～12月頃開催。

5 図書等の斡旋

各地区危険物安全協会が実施する危険物取扱者試験準備講習への図書を斡旋。

6 関係機関との連絡調整

- (1) 全国危険物安全大会が、令和2年6月8日(月)に東京都内ルポール麹町で開催。
- (2) 東北・北海道ブロック各危険物安全協会連合会会長・事務局長会議が、令和2年11月16日(月)及び同月17日(火)に岩手県が幹事となり、盛岡市内で開催。
- (3) 各都道府県危険物安全協会連合会会長等研修会が、令和3年1月頃に東京都内で開催。
- (4) 東北・北海道ブロック各危険物安全協会連合会事務局長・担当職員会議が、令和2年12月頃に秋田県が幹事となり、秋田県内で開催。

7 危険物取扱者保安講習の実施

- (1) 山形県の委託を受けて、危険物取扱者保安講習を実施。

令和2年8月～12月、受講者見込 2,350名程度
開催計画

開催地	一般	給取	石コ	合計
山形市	3	2	-	5
米沢市	3	1	-	4
三川町	4	2	-	6
酒田市	-	-	1	1
長井市	2	1	-	3
寒河江市	1	1	-	2
新庄市	1	1	-	2
村山市	1	1	-	2
合計	15	9	1	25

- (2) 受講義務がありながら未受講である者の解消を図るため、次の各種の手法により、集中的な広報・啓発を実施。

- ・ 開催案内の小型ポスターを作成し、地区安全協会を通じて各事業所に配布
- ・ 約2300箇所の事業所に書面で講習日程を知らせ、職員の積極的受講を要請
- ・ ポスターを作成して配布・掲示依頼
- ・ 市町村等と連携し、広報紙等を活用して講習会等開催日程の周知を促進
- ・ 消防署等の立入検査等で未受講を確認したときの受講指示の促進

- (3) 「3年後受講はがき」活用による受講の促進

平成24年度から開始した「3年後の講習受講と講習日程等のお知らせ(3年後受講はがき)」制度の一層の浸透と、活用促進を図る。

「3年後受講はがき」制度の利用促進について各保安講習開催時に要請。

なお、令和元年度は受講者の71%から制度活用の希望があった。

8 定期点検事業者認定制度事務の実施

- (1) 定期点検認定等事務 認定等事務見込件数 数件
- (2) 点検済証交付事務 交付見込枚数 500枚程度
- (3) 認定指導員による実態調査 3箇所程度

9 公益事業の推進

(1) 危険物安全週間のPR事業

- ・危険物安全週間用ポスター 2,000枚
- ・小冊子「知って納得!!危険物」 2,100部
- ・小冊子「事故防止チェックリスト」 200部
- ・DVD「危険物施設の異常を感知せよ」 18部

(2) 全危協の公益事業基金助成事業を活用した危険物防災広報啓発事業を実施。

10 火薬類取扱保安責任者試験の実施

(1) 公益社団法人 全国火薬類保安協会の委託を受けて、試験事務を実施。

(2) 試験問題作成及び採点は全火協で行い、県危連は試験実施及び結果通知を担当。

9月29日(火)～10月8日(木) 願書受付

12月20日(日) 試験実施(試験会場:山形国際交流プラザ内)

2月12日(金) 合格者発表、結果通知送付

11 火薬類保安教育講習等の実施

公益社団法人 全国火薬類保安協会の委託を受け、危険物取扱者保安講習に支障が出ない範囲で、県内各地で各種講習を実施するとともに、火薬類取扱保安責任者試験に向けた試験準備講習を実施。

保安教育講習等 県内各地で5回実施

再教育講習 山形市内で1回実施

試験準備講習 山形市内で1回実施

山形県危険物安全協会連合会
令和2年度 収支予算

(収入の部)

(単位：円)

科 目	予 算 額	前年度予算額	差 異	説 明
1 会 費	1,270,000	1,270,000	0	山形・酒田・西村山 @110,000 330,000 米沢・鶴岡・西置賜・天童 @100,000 400,000 最上・上山・村山・東根・南陽・高畠 @70,000 420,000 尾花沢・山辺・川西 @40,000 120,000
2 助成金	700,000	850,000	△ 150,000	危険物保安講習助成金 300,000 公益事業基金助成金 120,000 図書斡旋手数料 280,000
3 受託金	12,512,600	12,343,160	169,440	危険物保安講習業務受託金 (4,136円×2,350人) 9,719,600 定期点検実施制度広報事務受託金 70,000 定期点検認定等事務受託金 63,000 点検済証交付事務受託金 (60円×500枚) 30,000 認定指導員実態調査事務受託金 100,000 火薬類試験業務受託金 620,000 火薬類保安講習等業務受託金 1,560,000 火薬類試験準備講習受講料 350,000
4 人件費負担金	640,000	630,000	10,000	人件費負担金 (山形県消防設備協会) 640,000
5 積立金取崩収入	0	0	0	事業安定積立金取崩収入 0
6 雑収入	52,000	46,200	5,800	預金利子 1,000 講師研修会旅費 (全危協) 50,000 所得税還付金 1,000
当期収入合計	15,174,600	15,139,360	35,240	
前期繰越金	6,234,455	3,946,043	2,288,412	
合 計	21,409,055	19,085,403	2,323,652	

註1：会費は令和2年4月1日現在での各地区協会会員事業所数で算定。

註2：本年度欄の前期繰越金には、令和2年3月実施の事業安定積立金一部取崩で生じた210万円を含む。

(支出の部)

(単位：円)

科 目	予 算 額	前年度予算額	差 異	説 明
1 会議費	500,000	520,000	△ 20,000	総会・役員会・監査・危険物対策推進会議 500,000
2 事業費	8,652,000	9,128,000	△ 476,000	定例表彰費 210,000 危険物保安講習費 7,230,000 事務担当者研修会費 (非開催年) 0 連絡調整費 440,000 公益事業費 155,000 ホームページ運営費 132,000 認定指導員実態調査費 80,000 火薬類試験実施費 75,000 火薬類保安講習等実施費 110,000 火薬類試験準備講習実施費 220,000
3 事務費	5,255,000	5,213,000	42,000	人件費 3,752,000 福利厚生費 650,000 消耗品費 60,000 通信運搬費 170,000 使用料及び賃借料 460,000 税務会計整理委託費 (消費税開始に伴う増額) 143,000 交際費 20,000
4 負担金	205,000	205,000	0	全危協会費・社会保険協会会費 205,000
5 公租公課	522,000	72,000	450,000	法人税等 (消費税納税開始に伴う増額) 522,000
当期支出合計	15,134,000	15,138,000	△ 4,000	
次期繰越金	6,275,055	3,947,403	2,327,652	
合 計	21,409,055	19,085,403	2,323,652	

註1：本年度欄の次期繰越金には、令和2年3月実施の事業安定積立金一部取崩で生じた210万円を含む。